

株式会社エクストランス

X-MON 3.1.0

アップデート内容

内容

機能追加	3
LDAP 認証機能.....	3
LDAP サーバ管理.....	3
ユーザ管理	8
アップデート内容通知機能	11
Windows サーバ再起動コマンド	13
変更箇所	14
エスカレーション設定 改修	14
不具合の修正.....	20
監視プラグイン	20
複数の監視プラグイン	20
監視メニュー	21
マップ.....	21
管理者メニュー	21
ネットワークマップ検出.....	21
各種設定表示	22
その他	22

機能追加

X-MON_{3.1.0}にて以下の機能を追加しました。

LDAP 認証機能

LDAP サーバと連携し、LDAP サーバに登録されているアカウントを利用して X-MON にログインできる機能です。

■ 対象 LDAP サーバ

Linux OS では、open-ldap での動作確認を実施しております。

Windows OS につきましては、下記 OS の Active Directory にて動作確認を実施しております。

- ・ Windows Server 2008
- ・ Windows Server 2008 R2
- ・ Windows Server 2012
- ・ Windows Server 2012 R2

LDAP サーバ管理

- ・ 管理者メニュー > その他設定 > LDAP サーバ管理

LDAP サーバの情報を登録する画面です。

LDAPサーバ管理

※ LDAP認証経由でログインするユーザは [ユーザ管理](#) より設定できます。

新規登録 削除 削除と承認 ユーザの一括登録

名称	認証状況	操作
<input type="checkbox"/> LDAPサーバ1号	使用中	→ 詳細表示
<input type="checkbox"/> LDAPサーバ2号	使用中	→ 詳細表示

1 |

戻る 削除 削除と承認

“新規登録” ボタンをクリックすると、LDAP サーバの作成画面へと遷移します。
また、“詳細表示” ボタンより各サーバの詳細表示画面へ遷移後に“編集” ボタンをクリックすると、登録済みの LDAP サーバの編集画面へと遷移します。
こちらで LDAP サーバの情報をご登録ください。

The screenshot shows the 'LDAPサーバの作成' (LDAP Server Creation) page in the X-MON interface. The page is titled 'LDAPサーバの作成' and has a 'すべて開く' (Expand All) button. The main content area is titled '基本設定' (Basic Settings) and contains the following fields:

- LDAPサーバ ホスト名称**: LDAPサーバ1号
- LDAPサーバ アドレス**: Includes an '追加' (Add) button and a table with columns for Protocol, Host Address, and Port.
- Bind DN**: cn=Administrator,cn=Users,dc=sample,dc=local
- Bind Password**: Masked with 10 dots.
- Base DN**: dc=sample,dc=local
- OS**: Radio buttons for Linux and Windows (selected).
- 検索の属性**: Search attributes field.

プロトコル	ホストアドレス	ポート
ldap://	192.168.0.100	389

入力した LDAP サーバの情報で通信ができるかどうかの確認としてテストログインを行うことができます。

アカウントとパスワードを入力し、“テストログイン” ボタンを押すと、入力されている LDAP サーバとアカウントの情報でログインを試した結果が出力されます。

The screenshot shows the X-MON web interface for LDAP configuration. The top header displays the X-MON logo and the text "LDAP 設定". Below the header, there is a sidebar with navigation icons (star, home, asterisk). The main content area is titled "LDAP 設定" and contains several sections:

- SAMAccountName**: A dropdown menu.
- LDAP バージョン**: A dropdown menu set to "v2".
- 接続タイムアウト時間 (秒)**: A text input field containing "3".
- ユーザ検索タイムアウト時間 (秒)**: A text input field containing "3".
- テストログイン**: A section highlighted with a red border, containing:
 - アカウント**: A text input field containing "user001".
 - パスワード**: A password input field with 10 dots.
 - LDAP URL: "ldap://192.168.0.100:389".
 - Message: "接続に成功しました。" (Connection successful).
 - テストログイン**: A button with a refresh icon.

At the bottom of the configuration area, there is a "認証設定" (Authentication Settings) link. At the very bottom of the page, there are three buttons: "キャンセル" (Cancel), "編集" (Edit), and "編集と承認" (Edit and Approve).

こちらの項目は、ログインのテストを行うためのものとなりますので、何も入力しなくても LDAP サーバの登録は行うことができます。

■ ユーザの一括登録

選択した LDAP サーバからアカウントの一覧を取得し、一括で登録を行う機能となります。

“LDAP サーバ管理” 画面の “ユーザの一括登録” ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

The screenshot shows the 'LDAP User Bulk Registration' (ユーザの一括登録) interface in the X-MON system. The interface includes a header with the X-MON logo and a sidebar with navigation icons. The main content area is titled 'ユーザの一括登録' and contains the following elements:

- A dropdown menu for '認証先LDAPサーバ:' (Authentication LDAP Server) set to 'LDAPサーバ1号'.
- A table with two columns: 'LDAPサーバアカウント' (LDAP Server Account) and 'ユーザID' (User ID). The table lists four accounts: administrator001, user001, user002, and user003. The first two accounts have their checkboxes selected.
- A 'ユーザ権限' (User Permission) dropdown menu set to '閲覧者' (Viewer).
- A '閲覧対象ホストグループ' (View Target Host Group) section with radio buttons for '全て' (All) and '以下より選択' (Select from below). The '全て' option is selected.
- A scrollable list of host groups with '↑(選択)' (Select) and '↓(外す)' (Exclude) buttons.
- A '選択して下さい' (Please select) dropdown menu.

チェックボックスを選択した “LDAP サーバアカウント” を認証先とするユーザを、入力された “ユーザ ID”、“ユーザ権限”、“閲覧対象ホストグループ” にて一括で作成します。

以下、登録前の確認画面となります。

The screenshot shows a web interface for user registration confirmation. At the top left is the 'X-MON' logo. Below it is a vertical sidebar with three icons: a star, a circle with a dot, and a star. The main content area is titled 'ユーザの一括登録 - 確認' (Batch User Registration - Confirmation). Below the title, it says '認証先LDAPサーバ: LDAPサーバ1号'. A green box contains the instruction '以下のユーザを作成します。' (Create the following users). Below this is a table with two columns: 'LDAPサーバアカウント' (LDAP Server Account) and 'ユーザID' (User ID). The table lists two users: 'administrator001' with 'administrator001' as the user ID, and 'user001' with 'user001' as the user ID. Below the table, it specifies 'ユーザ権限: オペレータ' (User Authority: Operator) and '閲覧対象ホストグループ: 全て' (Viewable Host Group: All). At the bottom, there are four buttons: '戻る' (Back), '作成' (Create), '作成と承認' (Create and Approve), and 'キャンセル' (Cancel).

X-MON

★
●
★

ユーザの一括登録 - 確認

認証先LDAPサーバ: LDAPサーバ1号

以下のユーザを作成します。

LDAPサーバアカウント	ユーザID
administrator001	administrator001
user001	user001

ユーザ権限: オペレータ
閲覧対象ホストグループ: 全て

← 戻る + 作成 作成と承認 ✖ キャンセル

ユーザ管理

- ・ 管理者メニュー > ユーザ管理

ユーザの作成、編集時の項目として“認証方式”項目が新たに追加されました。
“認証方式”の選択肢は以下になります。

- ・ X-MON ローカル認証

X-MON に登録されたパスワードを元にログインを行う従来の認証方式です。
“パスワード”を指定する必要があります。

- ・ LDAP サーバ認証

LDAP サーバのアカウントを使用してログインを行う認証方式です。
“LDAP サーバ”、“LDAP サーバアカウント”を指定する必要があります。

- ・ ログインを許可しない

こちらを選択したユーザはログインが不可になります。

※ エスカレーション設定のメール通知などは行われず。

The screenshot displays the X-MON user management interface. The main content area is titled "認証方式" (Authentication Method) and is enclosed in a red box. It contains the following options and fields:

- X-MON ローカル認証
パスワード:
- LDAPサーバ認証
LDAPサーバ:
- LDAPサーバアカウント:
- ログインを許可しない

Below the authentication method section, there are three input fields for contact information:

- 連絡先電話番号 (TWilio API連携):
- E-MAILアドレス:
- 携帯モバイル用E-MAILアドレス:

At the bottom of the form, there are three buttons: "キャンセル" (Cancel), "作成" (Create), and "作成と承認" (Create and Approve). There are also two expandable sections: "通知のタイミング" (Notification Timing) and "高度な設定" (Advanced Settings).

“認証方式” 項目内の “アカウント一覧表示” ボタンをクリックすると、選択しているLDAP サーバからアカウント一覧を取得し、別ウィンドウにて表示します。

The screenshot shows the X-MON web interface. The main panel is titled "認証方式" (Authentication Method) and includes the following options:

- X-MON ローカル認証 (X-MON Local Authentication)
- LDAPサーバ認証 (LDAP Server Authentication)

Under the selected LDAP authentication method, there are fields for "パスワード:" (Password), "LDAPサーバ:" (LDAP Server) set to "LDAPサーバ1号", and "LDAPサーバアカウント:" (LDAP Server Account). A red box highlights the "アカウント一覧表示" (Account List Display) button, with a red arrow pointing to a modal window.

The modal window, titled "LDAPサーバ1号 のアカウント一覧" (LDAP Server 1 Account List), displays the following user accounts:

- user001
- user002
- user003

At the bottom of the main interface, there are buttons for "キャンセル" (Cancel) and "作成" (Create), along with expandable sections for "通知のタイミング" (Notification Timing) and "高度な設定" (Advanced Settings).

■ ユーザ整合性チェック

登録されている LDAP サーバに存在しないアカウントを認証先としているユーザが登録されていないか確認を行う機能です。

例えば、LDAP サーバにてアカウントの削除を行った後に、X-MON 側で整理を行いたい際などにご利用いただけます。

不要なユーザはチェックボックスを選択した状態で“削除”または“削除と承認”ボタンをクリックすることで削除することができます。

ユーザー整合性チェック

以下のLDAPサーバに存在しないアカウントを認証先とするユーザは登録されていません。

- LDAPサーバ2号

LDAPサーバ「LDAPサーバ1号」に存在しないアカウントを認証先とするユーザが登録されています。

<input type="checkbox"/>	LDAPサーバアカウント	ユーザID	ユーザ名称
<input type="checkbox"/>	user100	user100	ユーザ100番
<input type="checkbox"/>	user101	user101	ユーザ101番

選択したユーザを削除します。

アップデート内容通知機能

X-MON を新バージョンへとアップデートした際に、X-MON 内にてアップデートによる追加・変更をお伝えする機能です。

こちらに表示される内容は最低限の簡易的な内容となりますので、詳細なアップデート内容や過去バージョンでのアップデート内容に関しては、X-MON サポートサイト (<https://x-mon.jp/support/>) よりアップデート内容資料（本資料）ご確認ください。

ダッシュボード画面右上部に、電球のアイコンが点滅した状態で表示されます。こちらをクリックするとポップアップウィンドウにてアップデート内容が表示されます。



The screenshot shows the X-MON dashboard interface. In the top right corner, there is a lightbulb icon inside a red square, which is highlighted to indicate the update notification feature. The dashboard includes a search bar for host IDs, a status information table, and a performance graph section.

全ホスト	全障害	UP	DOWN	UNREACHABLE	PENDING
1	0	1	0	0	0

全サービス	全障害	OK	WARNING	UNKNOWN	CRITICAL	PENDING
10	0	10	0	0	0	0

パフォーマンスグラフ

グラフの選択: --- X ---

ホストID: ホストが選択されていません

サービスID: サービスが選択されていません

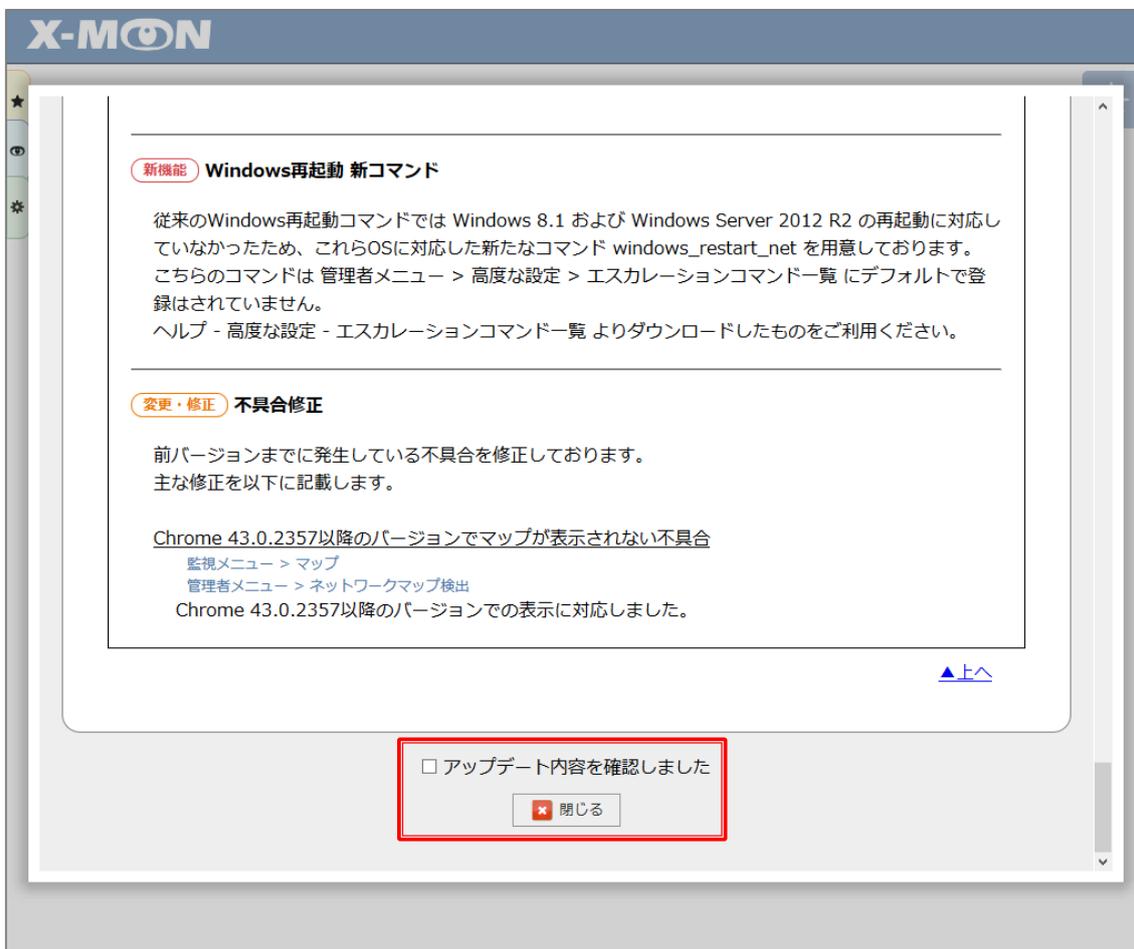
グラフパターン: 時次

しきい値: 表示

生成 更新

未処理の障害
障害は検出されていません。

アップデート内容について確認を終えたら、“アップデート内容を確認しました”と書かれたチェックボックスにチェックを入れた状態で“閉じる”ボタンを押してください。



“アップデート内容を確認しました”を選択した場合は、以後、電球のアイコンが点滅せずに半透明の状態が表示されるようになります。

アップデート内容の確認の完了・未完了は、ユーザごとに管理されます。

Windows サーバ再起動コマンド

ホストエスカレーション設定・サービスエスカレーション設定で使用する "Windows サーバ再起動コマンド" を新たに追加いたしました。

新たに公開いたしました再起動コマンドは、以下の OS にも対応しております。

- ・ Windows Server 2012 R2
- ・ Windows8.1

コマンドのダウンロードは「ヘルプ - 高度な設定 - エスカレーションコマンド一覧」よりお願いいたします。

また、コマンドの利用にあたりオプションの調整を行う場合、「ヘルプ - 高度な設定 - エスカレーションコマンド一覧」をご確認ください。

変更箇所

X-MON_{3.1.0}にて以下の変更が加わりました。

エスカレーション設定 改修

- ・ 管理者メニュー > ホスト管理 > ホストエスカレーション設定
- ・ 管理者メニュー > ホスト管理 > サービス設定 > サービスエスカレーション設定
- ・ 管理者メニュー > 監視パッケージ管理 > 監視パッケージ設定 > サービスエスカレーション設定

エスカレーション設定画面の改修を行いました。

画面表示の改修のみとなり、エスカレーション機能自体に変更はございませんので、アップデート以前に登録された設定に関しては引き続きご利用いただけます。

■ エスカレーション設定画面の表示

X-MON_{3.1.0}より前のエスカレーション設定では、設定入力用のフォームのみが表示され、設定内容をフォームにて確認する形でした。

- ・ X-MON_{3.1.0}より前のサービスエスカレーション設定画面

新しいエスカレーション設定では、設定入力用のフォームとは別に設定内容を表示する画面を用意し、設定内容の確認をより視覚的に行いやすいよう変更をいたしました。

・ X-MON_{3.1.0} のエスカレーション設定画面

★ サービスエスカレーション設定 / X-MON - PING

※ コマンドを実行するためには、監視対象サーバ側に設定が必要です。

※ デフォルトエスカレーション設定のユーザ名やパスワードを監視対象の環境に合わせて変更する必要があります。

[障害時のエスカレーション | 復旧時のエスカレーション]

表示順切り替え 実行タイミング順

エスカレーション設定

障害時のエスカレーション

障害発生時に 1 回実行する

管理者

WARNING CRITICAL UNKNOWN

復旧時のエスカレーション

復旧時に実行する

管理者

復旧時

■ 表示順切り替え

“表示順切り替え” のセレクトボックスの値を変更すると、エスカレーション設定の表示順が変更されます。

セレクトボックスの値には、以下がございます。

- ・ 実行タイミング順 … エスカレーションの実行開始タイミングの昇順で並び替えます。実行開始タイミングが同じ場合は、さらに実行の回数の昇順で並べます。
- ・ 実行内容順 … エスカレーションの実行内容によって並び替えます。
- ・ 更新順 … エスカレーションの設定の更新された順に並び替えます。新しく更新されたものほど下に表示され、従来の表示順と同じになります。また、更新日時と更新したユーザが追加で表示されます。

※X-MON3.1.0 へのアップデート以前に登録されたエスカレーション設定については、更新日時と更新ユーザは表示されません。



X-MON

★ サービスエスカレーション設定 / X-MON - PING

※ コマンドを実行するためには、監視対象サーバ側に設定が必要です。

※ デフォルトエスカレーション設定のユーザ名やパスワードを監視対象の環境に合わせて変更する必要があります。

[[障害時のエスカレーション](#) | [復旧時のエスカレーション](#)]

表示順切り替え **実行タイミング順**

エスカレーション設定

障害時のエスカレーション

🕒 障害発生時に 1 回実行する

✉️ 👤 管理者

WARNING CRITICAL UNKNOWN

■ エスカレーション設定変更画面

エスカレーション設定の追加・編集・削除を行うためのフォームです。

“エスカレーション設定” ボタンまたは各エスカレーション設定表示ボックス内の歯車マークのアイコンをクリックすると、ポップアップウィンドウにて表示されます。

X-MON

★ サービスエスカレーション設定 / X-MON - PING

※ コマンドを実行するためには、監視対象サーバ側に設定が必要です。

※ デフォルトエスカレーション設定のユーザ名やパスワードを監視対象の環境に合わせて変更する必要があります。

[[障害時のエスカレーション](#) | [復旧時のエスカレーション](#)]

表示順切り替え 実行タイミング順

エスカレーション設定

障害時のエスカレーション

🕒 障害発生時に 1 回実行する

✉️ 👤 管理者

WARNING CRITICAL UNKNOWN

以下、設定画面です。

X-MON

サービスエスカレーション設定 / X-MON - PING

[復旧時のエスカレーション実行タイミングについて](#)

サービスの監視間隔: 5 分
エスカレーション間隔: 5 分

※登録済みのエスカレーション設定は実行タイミング順で表示されます。

有効 無効

実行開始回数 回目から実行する

実行回数 制限する 回実行する
 制限しない

実行内容 メール通知
 コマンド

対象ステータス WARNING CRITICAL UNKNOWN 復旧時

“追加” ボタンを押すと新しくフォームが追加され、“削除” ボタンを押すと該当のフォームが削除されます。
入力した内容を登録する際は、“設定” または “設定と承認” ボタンをクリックしてください。

- ・ “追加” ボタンをクリック時

X-MON

上スケーション間隔: 5 分

※登録済みのエスカレーション設定は実行タイミング順で表示されます。

NEW! 有効 無効

実行開始回数 回目から実行する

実行回数 制限する 回実行する
 制限しない

実行内容 メール通知
 コマンド

対象ステータス WARNING CRITICAL UNKNOWN 復旧時

有効 無効

実行開始回数 回目から実行する

実行回数 制限する 回実行する
 制限しない

実行内容 メール通知
 コマンド

不具合の修正

監視プラグイン

複数の監視プラグイン

- カウンター値がリセットされた際（詳細下記）に、監視結果として正しい値が取得できない不具合
⇒ 正しい値が取得できるよう修正

※ カウンター値とは

こちらのバグに該当する監視プラグインは、SNMPのカウンター値という積み上げ式のデータから監視結果を取得しております。

監視プラグインの結果としては、積み上げられたカウンター値から、チェック時点の値と前回チェック時点の値の差分を取得しております。

カウンター値は一定の値を超えた際にリセットされ、0となります。

こちらのバグは、チェック時点から前回チェック時点の間にカウンター値がリセットされていた場合に、正しく値を取得できないものとなります。

該当の監視プラグインは以下となります。

Hyper-V 監視	Hyper-V 仮想スイッチ受信量監視
	Hyper-V 仮想スイッチ送信量監視
	Hyper-V ゲストストレージデバイス（エラー）監視
	Hyper-V ゲストストレージデバイス（読み取り/書き込み）監視
Linux/Unix 系リソース監視 (SNMPv1,v2 対応)	CPU 監視
	CPU 監視(コア数分割)
	TRAFFIC 監視
	TRAFFIC 監視(複数インターフェイス合計)
Linux/Unix 系リソース監視 (SNMPv3 対応)	CPU 監視(コア数分割/認証)
	CPU 監視(コア数分割/認証暗号化)
	CPU 監視(認証)
	CPU 監視(認証暗号化)
	TRAFFIC 監視(複数インターフェイス合計 認証)
	TRAFFIC 監視(複数インターフェイス合計 認証暗号化)
	TRAFFIC 監視(認証)

	TRAFFIC 監視(認証暗号化)
SNMP 監視(v1,v2 対応)	SNMP カウンター値監視(1 軸)
	SNMP カウンター値監視(2 軸)
	SNMP カウンター値監視(3 軸)
SNMP 監視(v3 対応)	SNMP カウンター値監視(1 軸/認証)
	SNMP カウンター値監視(1 軸/認証暗号化)
	SNMP カウンター値監視(2 軸/認証)
	SNMP カウンター値監視(2 軸/認証暗号化)
	SNMP カウンター値監視(3 軸/認証)
	SNMP カウンター値監視(3 軸/認証暗号化)
VMware 監視	VMware 仮想スイッチ受信量監視
	VMware 仮想スイッチ送信量監視
	VMware 物理 NIC 受信量監視
	VMware 物理 NIC 送信量監視

監視メニュー

マップ

- Chrome (バージョン 43.0.2357 以降) にて “ネットワークマップ ツリー表示” 、 “ネットワークマップ ドリルダウン表示” および “ロケーションマップ” が表示されない不具合
⇒ 表示されるよう修正

管理者メニュー

ネットワークマップ検出

- Chrome (バージョン 43.0.2357 以降) にて検出結果のマップが表示されない不具合
⇒ 表示されるよう修正

各種設定表示

- “ユーザ” ページ、表内の “ユーザ権限” 項目クリックによる検索の結果が空になる不具合
⇒ “ユーザ権限” にて検索がかかるよう修正

その他

- 入力内容チェックが不十分な箇所の修正
- 表示内容が不適切な箇所の修正